

新学術領域研究「法と人間科学」主催

# 法と心理学者による実務家研修

法と心理学の知見・成果を司法の現場の方々に知っていただくために、日本心理学会より助成を受けて、日本心理学会を中心とする「法・矯正領域における心理実務家研修プログラム」研究会が、実務家研修を企画致しました。参加費は無料です。裁判官、検察官、弁護士などの皆様方の参加を心よりお待ちしております。



1

2012年6月1日(金)  
14:30 ~ 17:00

◆6/2(土)~3(日)に開催される日本認知心理学会大会に連結する形で開催します

岡山大学 津島キャンパス  
A34 教室 (一般教育棟A棟3階)

## 「市民と育む法意識：法教育の理論と実践」

参加無料  
申込不要

**講師** 梅田比奈子(横浜市教育委員会主任指導主事)、外山紀子(津田塾大学教授)、村松剛(弁護士 横浜弁護士会所属)、吉岡昌紀(清泉女子大学 教授)

◆コーディネーター：唐沢 穰(名古屋大学 教授)

法教育とは、法律の専門家ではない一般の人々が法や司法制度、その基礎になっている価値を理解し、法的なものの方を身につけるための教育である。近年、日本でも、裁判員制度が始まったこと等もあり、法教育の必要性が認識されつつある。その実践も広まりを見せているが、法律や裁判を扱えば法教育と思われる向きがないともいえない。

この研修では、次の3点に関する解説——(1) 弁護士の立場から法教育の内容と目的について、(2) 小学校教員の立場から新学習指導要領における法教育の位置づけについて、(3) 発達心理学者の立場から道徳性・社会認識の発達について——を踏まえ、小学生および中学生向けの法教育の実践例をいくつか紹介する。その上で、いわゆる心情主義、徳目主義を特徴とする従来の道徳教育と比べ、法教育がどのような特色をもつかについても解説する。

会場への  
アクセス

● タクシー：岡山駅西口タクシー乗り場から乗車で約7分

● バス：岡山駅西口バスターミナルより「47系統」に乗車、「岡大西門」で下車約7~10分

2

2012年9月14日(金)  
13:00 ~ 17:00

◆9/11(火)~13(木)に開催される日本心理学会大会に連結する形で開催します

専修大学 生田キャンパス  
978 教室 (9号館 [120年記念館] 9階)

## コミュニケーション弱者のための取り調べ技法： 「情報収集アプローチ」の基礎

参加無料  
事前申し込みにて  
先着24名様まで

**講師** 高木光太郎(青山学院大学 教授)、仲 眞紀子(北海道大学 教授)

\*お申し込みは、氏名、住所、年齢、職業(所属)、電話番号、メールアドレスを下記問い合わせ先にメールにてご連絡お願い致します。

知的障害者などコミュニケーションがあまり得意ではない人々(コミュニケーション弱者)が被疑者となった場合、取調べはどのように進めればよいだろうか。質問の意図がうまく伝わらずコミュニケーションが混乱する、不適切な言葉がけで迎合や誘導を生じさせてしまうといったトラブルを避けながら、被疑者から体験を適切に反映した供述を得るためには「情報収集アプローチ」と呼ばれる被疑者面接技法が有効であることが知られている。この研修では新学術領域「虚偽自白防止機能を組み込んだ被疑者面接技法の開発」「子どもへの司法面接：面接法の改善その評価」の研究成果を踏まえて、コミュニケーション弱者の供述特性を理解するための会話分析演習と、「情報収集アプローチ」による被疑者面接の演習を行う。

会場への  
アクセス

● バス：向ヶ丘遊園駅(小田急線)北口より「専修大学9号館」行きで10分(終点下車)

● あざみ野駅(東急田園都市線・横浜市営地下鉄)より「向ヶ丘遊園駅」行きで約35分  
→9号館(120年記念館)入口へは「専修大学120年記念館前」で下車徒歩3分

問い合わせ：北海道大学大学院文学研究科 新学術領域研究「法と人間科学」事務局  
email: lahs@let.hokudai.ac.jp, tel. (011) 706 - 3912

主催：文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「法と人間科学」

後援：日本学術会議(法と心理学分科会)、日本心理学会、日本認知心理学会、日本犯罪心理学会、法と心理学会、北海道大学文学研究科 JST プロジェクト「犯罪から子どもを守る司法面接法の開発と訓練」(50音順)